

# 2019年度事業計画及び収支予算

## I. 2019年度事業計画

### 1. 概要

鉄道建築に係る情報交換、技術交流をはかり技術の発展に資するとともに、会員相互の連帯感醸成を目指して（1）から（7）までの事業を行ないます。

- （1）公益目的事業（「鉄道建築ニュース」の発行、鉄道建築に係る技術振興事業、鉄道駅耐震化事業）の確実な推進、実施に努めます。
- （2）機関誌「鉄道建築ニュース」は、会員相互の情報交換、技術交流の重要な場と認識し、一層の内容充実に努めます。
- （3）技術振興事業は、鉄道建築技術の発展、継承に資することを旨として下記の事業を実施します。
  - ・作品部門、技術会、論文・業績部門、以上3部門の業績に対する表彰を行います。
  - ・講演会、見学会等を、適宜開催します。
- （4）鉄道駅耐震化の事業（管理業務）は、国、自治体、鉄道事業者と連携して着実に推進し、現在は財産管理業務をおこなっております。
- （5）鉄道建築に関する情報、資料の蒐集、整理、保存に努め、供覧の用に供します。
- （6）鉄道建築に係る国際情報の蒐集に努め開示します。
- （7）鉄道建築技術、情報のより広範な普及を目指して、会員の増強に努めます。

### 2. 会務

- （1）通常総会
- （2）理事会その他

理事会

監査

- （3）委員会

総務委員会、事業委員会、編集委員会、情報委員会、国際委員会などを設置  
特別委員会……平成30年度後半から、「これからの鉄道建築メンテナンス」  
について自主研究を進める予定となっております。

### 3. 事業

- （1）機関誌「鉄道建築ニュース」刊行                      基本……毎月10日発行  
機関誌「鉄道建築ニュース」を、平成30年度から、カラーページを増やしております。

- （2）顕彰事業

ア 協会賞作品部門（第64回）

- イ 協会賞建築技術会（第 34 回）
- ウ 協会賞論文業績部門（論文部門第 50 回、業績部門第 48 回）
- （3）鉄道駅耐震補強事業の推進
  - 公益目的支出計画による事業の確実な実施
  - 帰属財産の管理業務
- （4）講演会、見学会
- （5）特別委員会において「鉄道建築のメンテナンス」について研究の実施
  - 昨年度に引き続き、特別委員会において「これからの鉄道建築メンテナンス」について、研究を進めていきます。
- （6）図書頒布及び斡旋
  - 出版図書、既発行図書の頒布、斡旋図書の斡旋
- （7）鉄道建築関係資料蒐集・整備
  - 所有資料、図書の整備、検索システムの整備
- （8）建築に係る国際情報の蒐集、開示

## II. 2019年度予算

各支部と連携を図りつつ、会員確保の取り組みに力を注ぎます。合わせて、収入の柱の一つである広告収入の確保に努めます。具体的には、カラー広告を増やすほか、特集記事、「作品賞」などの発行のタイミングに合わせて、特別広告収入の獲得などに努めてまいります。

支出面では、2018年7月に上野駅近くの事務所へ移転いたしました。約75万円／年度の家賃増となりました。

### 1. 2019年度予算

2019年度予算は、13ページに記載の通りです。